

国際 NGO プラン・ジャパン 第3回国連防災世界会議 パブリック・フォーラム 被災者の長期的な心のケア、思春期の女の子と防災について発信 イギリス本部より災害対策専門家来日

国際 NGO プラン・ジャパンは、第3回国連防災世界会議と同時期に開催される仙台市主催のパブリック・フォーラムで、被災者の長期的な心のケア、思春期の女の子と防災について国際本部の専門家を招き2つのフォーラムを実施します。

1. 被災者の心を支えるために～東日本大震災のこれまで、そして今後の災害に備えて～ 【2015年3月15日開催】

大規模災害からの復興には長期的な視点が必要とされます。エボラ出血熱感染から東日本大震災にいたるまで、特に「心のケア」は個人と社会の復興に重要であり、表面化していない地域や個人のニーズを拾い上げながら寄り添うことの大切さは途上国でも日本でも変わりはありません。ケア宮城と共同で開催される本フォーラムには、プランの緊急災害支援担当者ウニ・クリシュナンが基調講演を行ない、国際的な支援の潮流を交えて日本と世界が今後必要とする災害支援のあり方について考えます。

<p><基調講演> 「大災害後の回復力を高めるために～日本と世界への提言～」 ウニ・クリシュナン（国際NGOプラン 緊急災害支援担当、医師）</p>	<p><お申込み> 日時：2014年3月15日（日）13:30～17:00 場所：東京エレクトロンホール宮城（県民会館）401会議室 定員：100名 主催：ケア宮城、公益財団法人プラン・ジャパン お申込み：当日参加も可能ですが、座席確保のため、なるべく事前にイベント担当までお申込みください。入場無料。 Tel：03-5481-0030（平日9:00～17:30） メール：event@plan-japan.org</p>
<p><シンポジウム> 司会：本郷 一夫（東北大学大学院教育学研究科長・同教育学部長・教授） 話題提供者： 膳 三絵（公益財団法人プラン・ジャパン コミュニケーション部） 小澤 義春（支援者のための支援センターTOMONY共同代表） 畑山 みさ子（ケア宮城代表・宮城学院女子大学名誉教授） 会場参加者との意見交換の時間もあります *通訳あり</p>	

2. 災害と女の子たち～ガールズ防災会議～ 【2015年3月17日開催】

防災や復興・地域づくりにおいて、思春期の女の子が直面する課題をフォローし、女の子たちが積極的に参画できるようにする取り組みが世界各地で進められています。本フォーラムでは、世界の女の子を応援する Because I am a Girl キャンペーンを展開しているプラン・ジャパン理事の大崎麻子がモデレーターをつとめ、複数の NGO や NPO とともに、女の子や女性にやさしい災害時の支援のあり方、女の子たちへの暴力と災害の関係、防災と復興への女の子の参画をテーマに、海外での事例紹介に合わせて、日本でのこれからの防災・復興支援を考えます。プランの緊急災害支援担当者のウニ・クリシュナンは、海外の災害における女の子への虐待への対応事例などを紹介します。

<p><主な登壇者> モデレーター・報告 大崎 麻子（プラン・ジャパン理事、Gender Action Platformアドボカシー担当） スピーカー ウニ・クリシュナン（プラン 緊急災害支援担当、医師） 宮原 契子（公益財団法人ジョイセフ 企画マーケティンググループ課長） 橘 ジュン（NPO法人BONDプロジェクト代表） 林崎 知美（女子の暮らしの研究所 研究員） スバトラ・ジャヤラジ（IPPF-国際家族計画連盟- 緊急復興支援チーム、医師）</p>	<p><日時・お申込み> 日時：2015年3月17日（火）13:00～16:00（交流会 16:10～40分程度） 場所：エルパーク仙台 6F ギャラリーホール 定員：約180名 お申込み：http://www.sendai-l.jp/jbf/shiza/#sympo5 から申込みフォームへアクセス （入場無料、日英逐次通訳あり、当日受付あり） 主催：仙台市/公益財団法人 せんだい男女共同参画財団 共催：Gender Action Platform/公益財団法人ジョイセフ/特定非営利活動法人オックスファム・ジャパン/ 公益財団法人プラン・ジャパン 企画協力：特定非営利活動法人BONDプロジェクト、女子の暮らし研究所</p>
--	--

パブリック・フォーラム プラン登壇者の紹介

ウニ・クリシュナン(Unni Krishnan) プラン緊急災害支援担当、医師

1991年以來、インド、パキスタン、中国、アフガニスタン、ハイチなど、世界各地の災害・紛争地域において、人道支援のコーディネーターや被災者の心理社会的ケアの支援を行ってきた。また、国際機関や国際NGOなどによる人道的な支援ガイドライン策定(スフィア・プロジェクト議長、IASC 委員など)にも深く関与。東日本大震災後、今回が4度目の来日となる。



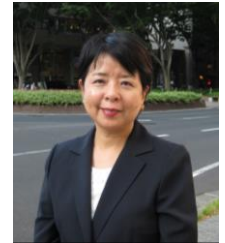
大崎麻子 プラン・ジャパン 理事

国際協力・ジェンダー専門家、Gender Action Platform アドボカシー担当。コロンビア大学大学院在学中に長男を出産。国連開発計画(UNDP)に就職し、途上国の女性支援に従事した。在職中に長女を出産し、子連れ出張も経験。現在はフリーの専門家として、国際協力や東北の復興支援に従事している。サンデーモーニング(TBS系)のコメンテーターとしても活躍中。著書に『女の子の幸福論 もっと輝く明日からの生き方』。



膳三絵 プラン・ジャパン コミュニケーション部マネジャー

国内の航空会社4社29年の勤務を通じて培った、組織運営や事業計画策定など多岐にわたるマネジメント経験を活かして、開発途上国の子どもたちへの持続可能な支援に取り組む。2011年3月25日から1年3ヶ月にわたり、仙台市に拠点を置いてプラン・ジャパン東日本大震災支援対策室長として支援活動に奔走した。



イベント告知や当日の取材、個人への取材につきまして、ご検討をよろしくお願いいたします。

Because I am a Girl キャンペーンとは

Because I am a Girlは、国際NGOプラン(本部:イギリス)が展開するグローバルキャンペーン。女性であること、そして子どもであることへの二重の差別ゆえに、様々な困難に直面する途上国の女の子たちの問題を訴え、彼女たちが「生きていく力」を身に付け、途上国の貧困が削減されることを目指します。

Because I am a Girl キャンペーンサイト www.plan-japan.org/girl/

公益財団法人 プラン・ジャパン

プランは国連に公認・登録された国際NGOとして、アジア・アフリカ・中南米51カ国で、子どもたちとともに地域開発を進める。プラン・ジャパンはその一員。国際的には70年以上の歴史があり、日本では1983年に設立。東日本大震災に際し、日本国内での緊急・復興支援を展開。

このリリースに関するお問い合わせ先

公益財団法人プラン・ジャパン 広報担当 後藤/久保田

〒154-8545 東京都世田谷区三軒茶屋2-11-22-11F www.plan-japan.org

☎03-5481-6517 080-3303-6712 goto@plan-japan.org

世界の女の子に、生きていく力を。

